

JACDS 防犯・有事委員会

JACDS 「点検・啓発キャンペーン」

- ◆自社ルールは決まっていますか
- ◆自社ルールが適切に運用されていますか
- ◆自社ルールが業務実態と乖離していませんか



トラブル・事故を防ぐため、年2回は自社ルールと運用を点検しましょう

企業及び店舗業務で発生するリスク

リスクの内容	原因や手口等	その他
個人情報・機密データの漏洩	ウイルス感染・不正アクセス メール誤送信 不正持ち出し・盗難・記録媒体の紛失	
万引き・強盗	外国人の組織的大量窃盗 従業員の内引き 従業員通用口での待伏せ	
火災	店内外の清掃不徹底 施設の老朽化 放火	
水害	台風・ゲリラ豪雨	
停電	地震・台風・大雪	
パワハラ	上司・同僚からのパワハラ	
カスハラ	お客様からのカスハラ	
反社会的勢力との関係	外部との契約時に気付かず反社と契約	
バイトテロ・SNSの確認	バイト教育不徹底、SNS放置で炎上	
内部通報制度	社内トラブルに対して窓口が機能しているか	

企業及び店舗業務で発生するリスク

リスクの内容	原因や手口等	その他
社内・取引先不正	ポイント付与に関する不正、店舗内商品の万引きや納品に関する不正、売上、現金等の金銭に関する不正、等々	
設備・施設事故	商品の陳列、在庫品と接触した転倒事故、台車やカゴ車の移動、操作時による接触事故、店舗及び駐車場等の設備による事故、等々	
詐欺行為	商品詐欺（交換、返品、破損に伴う損害の不当請求等）、釣銭詐欺、POSA※カード関連詐欺、変造処方箋詐欺、消火器点検・交換詐欺、等々	
ストーカー行為	特定従業員に対して執拗に話しかける、クレームをつける（来店または電話）、ボディタッチ、通勤時の待ち伏せ、帰宅時の自動車や自転車で尾行、等々	

参考 各種リスクの事例紹介

2023年の「個人情報漏えい・紛失事故」 出典：株式会社東京商工リサーチ

◆2023年は事故件数と情報漏えい人数が過去最多

- ・2023年の事故件数は175件（前年比6.0%増）で、2012年に調査を開始以降、3年連続で最多件数を更新した。社数は147社（同2.0%減）で、前年から3社減少し、過去2番目だった。

◆「ウイルス感染・不正アクセス」の件数が過去最多 ランサムウェアによる被害が多発

- ・「ウイルス感染・不正アクセス」による個人情報漏えい・紛失事故は増加の一途をたどっている。事故件数は93件で、前年の91件を上回り、最多を記録した。事故件数は2019年以降、5年連続で最多を更新している。
- ・特に、2023年は感染した端末などのデータを不正に暗号化するなどでロックをかけ、解除を条件に対価（身代金）を要求するランサムウェアによる感染被害が多発した。

バイトテロの事例から学ぶ企業の被害 出典：株式会社リリーフサイン

◆コンビニ店員のバイトテロ

- ・2019年2月某コンビニ店でアルバイトをしていた学生アルバイトが商品であるおでんのしらたきを頬張ったあとに手に吐き出し、そのままタバコの箱を乱雑に触りまくるといった動画が投稿され炎上。

◆時価総額27億円の損失

- ・某回転寿司チェーン店では、調理場にて食材の魚を使って悪ふざけをする動画が拡散され炎上。この回転寿司チェーンは法的措置を取ると明言し、結局バイトテロに関わった3人は書類送検されています。この炎上に合わせて同社の株は130円も下落し、時価総額にして27億円の損失。